

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 新潟県新発田市
本事業の担当部局名 みらい創造課

事業メニュー		ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分		重点メニュー						
関連事業メニュー		1.2.2 若い世代の描くライフデザイン支援						
個別事業名		ライフデザイン・結婚支援事業				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間		令和7年4月1日		～	令和8年3月31日		事業開始年度	令和3年度
総事業費(A)(円)		3,280,420		寄付金その他の収入予定額(B)(円)		0	差引額(A-B)(円)	3,280,420
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		3,280,420						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	0	0	0	0	117,920	0	
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	117,920	0	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計	
	総事業費	3,162,500	0	0	0	0	3,280,420	
	対象経費支出予定額	3,162,500	0	0	0	0	3,280,420	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
	自治体における少子化対策の全体像及びその中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 全国的に少子化が進む中、当市の出生率も年々低下傾向にあり、令和5年の合計特殊出生率は、1.27であった。県平均の1.23をわずかに上回ったものの、婚姻率の低下や非婚化、晩婚化に歯止めがかかっていない。出生数は減少傾向にある一方、核家族世帯の増加に伴い孤立した状態での育児に心身ともに負担が大きくなっている。過年度に引き続き、SNSを活用し子育て世代を中心にタイムリーな情報発信を重点的に行うほか、結婚、出産、子育てのそれぞれのステージに応じた支援を行う。 <本個別事業の位置付け> 中学生、高校生、若手社会人を対象に直面する人口減少問題について理解を深め、若者が将来に希望を見出し、自分の理想とするライフデザインを具体的に考えるきっかけとなる機会を提供する。中学生を対象にすることで早い段階から自身の希望する将来に向かって自立的に行動し、希望を叶える一助となることを目指す。 各学校の実情に応じた内容となるよう、学校と打ち合わせをしながら実施する。また、中学生、高校生ともに第2学年を対象とし、より自分の将来についてイメージしやすいよう、内容を工夫する。					
個別事業の内容	番号	項目	内容					
	1	中学生向けライフデザイン講座	新発田市・胎内市・聖籠町定住自立圏の中学2年生を対象に、キャリア教育の一環として授業のコマを使い、ライフデザイン講座を実施する。 新発田市10校、胎内市1校、聖籠町1校とし、新発田市・胎内市・聖籠町定住自立圏事業として実施する。 実施内容は、ライフデザインに係る知識、情報提供とグループワーク、ライフプランの作成、グループ発表を行い他者との共有を図るものとする。					
	2	高校生向けライフデザイン講座	新発田市内の高校2校の2年生を対象に、キャリア教育の一環として授業のコマを使い、ライフデザイン講座を実施する。新発田市・胎内市・聖籠町定住自立圏事業として実施する。 実施内容は、ライフデザインに係る知識、情報提供とグループワーク、ライフプランの作成、グループ発表を行い他者との共有を図るものとする。 より将来像をイメージしやすくするため、キャリア教育と並行した実施を各学校に勧め、結婚や子育てについて押し付けとならないよう配慮しながら自分事として考える機会とする。					
	3	社会人向けライフデザイン講座	対象：若手社会人の男女(未婚、既婚問わない)、募集人数50人×1回 若い世代がライフデザインについて考える機会を提供することで、理想とする将来の希望を叶える一助とする。圏域内の企業に積極的に周知し、若手社会人(概ね5年目以内)を対象として、参加を募る。 ワークショップでは、若者が様々なライフイベントに対応できるよう、必要な知識や情報を総合的に習得し、自身のライフプランについて考え、将来設計を描くなどの要素を取り入れることとする。					
<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> ・令和6年度は新発田市内10校の中学生2学年を対象にライフデザイン講座を実施した。生徒が早い段階から人口減少問題や地域の課題を認識することで、将来の自分の人生設計に具体性を持たせることができていた。そこで、高校生、若手社会人にも対象を拡大し、ライフデザイン講座を実施することとする。 ・緩い出会いの場の集客に苦戦してきたが、令和6年度は企業を経由した周知が効果的であることが分かった。ライフデザイン講座の実施においても新潟県ハッピーパートナー企業や不動産関連の団体を経由した周知を強化する。								

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	婚姻率			3.0(令和9年)	3.1(令和5年)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率			1.27(令和5年)	
	婚姻件数		件	281(令和5年)	
	婚姻率			3.1(令和5年)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
		(アウトプット)			
	①	中学生ライフデザイン講座受講人数	人	800(R7年度)	808(R6年度)
	②	高校生ライフデザイン講座受講人数	人	280(R7年度)	0(R6年度)
	③	社会人向けライフデザイン講座受講人数	人	50(R7年度)	0(R6年度)
	④				
	⑤				
		(アウトカム)			
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	---	---
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	71(R7年度)	71.1(R5年度)
	④	理想とするライフデザインを考えるきっかけとなったと回答した人の割合	%	85.0(R7年度)	85.0(R5年度)
	⑤	地域の現状や課題に対する理解が高まったと回答した人の割合	%	92(R7年度)	91.9(R5年度)
	⑥	男女がそれぞれの立場を尊重しながら結婚や子育てをすることが大切だと回答した人の割合	%	96(R7年度)	95.4(R5年度)
	⑦				
	⑧				